

MSDS

安全データシート (MSDS)
指令 (CE) 1907/2006

1. 製品および会社情報

1.1 製 品

製品名 : **JV3DS - LED VARNISH - 10L**
PN **10143S (10L)**

1.2 当該物質・混合物の用途およびその推奨用途

使用対象 : *JETVARNISH 3DS (10L)*

1.3 安全データシート発行元

製造元/供給元:

MGI Digital Technology
4, rue de la Méridienne
94260 Fresnes
FRANCE
Tel.: +33 1 45 21 06 60 / Fax: +33 1 46 68 71 55
E-mail: info@mg-fr.com / <http://www.mgi-fr.com>

1.4 緊急連絡先:

Tel. ORFILA: +33 1 45 42 59 59 (代表)
中毒症状問い合わせの専門窓口 (パリ市)。
Tel.: +33 1 40 05 48 48、URL : www.centres-antipoison.net

2. 危険有害物質の要約

2.1 含有物質、混合物質の分類

規則 (EC) No 1272/2008 に準拠した分類

Skin irritation cat 2 (皮膚に対する刺激性を有す。)	H315
Eye irritation cat 2 (眼に対する強い刺激を有す。)	H319
Sensitization skin cat 1B (皮膚アレルギーを発症する場合がある。)	H317
Reproductive toxicity cat 2 (生殖毒性)	H361d
Specific target organ toxicity - Single exposure cat 3 (特定標的臓器毒性)	H335
Hazardous to the aquatic environment - Long-term hazard cat 2 (水生生物に対し、長期にわたり有害性を有す。)	H411

2.2 ラベル表示

規則(EC) No 1272/2008 に準拠したラベル表示。

含有物質は CLP 規則に準拠し分類。

危険有害表示マーク



SGH07



SGH08



SGH09

注意喚起語： 警告

危険有害性

- H315 皮膚に対する刺激性を有す。
- H319 眼に対する強い刺激性を有す。
- H317 皮膚アレルギーを生ずる場合がある。
- H361 胎児への障害を引き起こす可能性がある。
- H335 呼吸器に炎症を生じる場合がある。
- H411 水生生物に長期にわたり毒性を有す。

注意事項

予防措置

- P264 取り扱い後は十分に手を洗うこと。
- P280 保護手袋／防護服／保護メガネ／顔面保護マスクを着用すること。
- P261 粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸い込まないこと。
- P272 汚染された作業衣は作業場から外部に持ち出さないこと。
- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
- P202 すべての安全のための注意事項を通読し、理解するまでは製品を取り扱わないこと。
- P405 施錠して保管すること。
- P403+P233 通気性の良い場所で保管すること。コンテナの栓ははしっかりと占めること。
- P271 屋外あるいは通気性の良い場所で使用すること。
- P501 内容物および容器の廃棄は当該地域／地方／国／国際規則に従って行うこと。
- P273 環境への放出を避けること。
- P391 漏出物を回収すること。

対応

- P302+P352 皮膚に触れた場合、十分な量の水で洗うこと。
- P332+P313 肌に刺激を感じた場合：医師の診察を受けること。
- P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間洗浄すること。コンタクトレンズを着用している場合は取り外して、引き続き洗浄すること。
- P304+P340 吸い込んでしまった場合：新鮮な空気のある部屋に移し、容易に呼吸ができるようにすること。
- P337+P313 眼への刺激が続く場合：医師の診察を受けること。
- P308+P313 ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
- P362+P364 汚染された作業衣を脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。
- P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。

3. 組成、成分情報

化学品名	CAS No	分類 CLP	濃度
ジフェニル(2, 4, 6-トリメチルベンゾイル)ホスフィン・オキシド	75980-60-8	皮膚感作 cat 1B H317 生殖毒性 cat 2 H361f 水生環境への悪影響- 長期にわたる悪影響 cat 2 H411	1-2, 9%
2-フェノキシレン・アクリレート	48145-04-6	皮膚感作 cat 1B H317 生殖毒性 cat 2 H361d 水生環境への悪影響- 長期にわたる悪影響 cat 2 H411	20-30%
エトキシ化フェノールアクリレート	56641-05-5	皮膚感作 cat 1B H317 生殖毒性 cat 2 H361d 水生環境への悪影響- 長期にわたる悪影響 cat 3 H412	20-30%
アクリレートモノマー	非開示	急性中毒(吸引) cat 4 H332 皮膚への刺激 cat 2 H315 眼の痛み cat 2H319 皮膚感作 cat 1B H317 特定臓器毒性 - 単発暴露 cat 3 H335 水生環境への悪影響- 長期にわたる悪影響 cat 2 H411	30-55%
アクリレートポリマー	非開示	/	5-10%

4. 応急処置

4.1 応急処置の内容

皮膚へ付着: 汚染された衣服、靴を即座に脱いで、水で十分に洗い流す。洗濯せずに汚れた衣服を着ないこと。水で洗い流した後も痛み、炎症が継続する場合、あるいは液が付着したことによる何らかの症状が出た場合は、医師の診察を受けること。

眼に入った場合: 十分な水で、最低15分間は眼を洗うこと。何らかの症状が続く場合には医師の診察を受けること。

吸引した場合: 新鮮な空気のある場所に移動する。呼吸が困難な場合は、酸素吸入を行うこと。何らかの症状が続く場合には医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合: 万一、飲み込んでしまった場合は、直ぐに医師に連絡すること。医師の指示があった場合のみ吐かせる。意識のない場合は口から何も与えてはならない。

4.2 顕著な症状および影響(急性および遅発性)

皮膚へ付着した場合: 発赤および痛み。

眼に入った場合: 発赤および痛み。

飲み込んだ場合には吐き気、嘔吐、下痢を催す場合がある。

4.3 即時の診察および特別な処置が必要とみられる症状が出た場合

直ぐに医師の診察を受けること。

5. 火災時の処置

5.1 消火剤

適切な消火剤:

炭酸ガス、粉体または水噴霧。より大きな火災では水噴霧または耐アルコール性泡消火剤を使用。周りの状況に合わせた消火剤を使用すること。

不適切な消火剤: 火を広げる為、棒状水は使用しないこと。

5.2 特有の危険有害性

火災の熱に曝されている容器は水噴霧で温度が上がらないようにすること。

5.3 防護装備

自給式呼吸器を着用すること。火災防護服を着用。SDS 第 8 章（ばく露防止および保護措置）を参照。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、防護装備および緊急対応

適切な換気を確保すること。適切な呼吸器を着用すること。第 8 章（ばく露防止および保護措置）に記載の火災防護服／装備に加えばく露の程度に従って不浸透性の長靴を着用すること。

6.2 環境に対する注意事項

下水、水路、地面に流さないこと。

6.3 清掃手順、用具

発火源を取り除く。吸収素材（砂、珪藻土、酸バインダ、万能バインダ、おがくず）で汚れを拭き取り、ごみ箱へ廃棄する。

6.4 参照

7 項：安全な取り扱い。

8 項：人体防護装備。

13 項：廃棄。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

7.1 取り扱いに関する注意事項

注意事項：眼、皮膚、着衣への付着を避けること。蒸気・ミストの吸入を避けること。容器の蓋はしっかりと閉めること。容器の開閉、取り扱いに注意すること。熱源、火花、炎から遠ざけること。この製品を取扱う際には、飲食、喫煙しないこと。排気設備を設置すること。

7.2 安全な保管条件

保管温度： 15-30 °C (59-86°F)

その他保管時の注意事項：

容器はしっかりと密閉すること。

貼られているラベルの注意に従うこと。関係者以外の当該製品への接触を避けること。酸化剤、アルカリ／酸性物、発火物のそばでは保管しないこと。開封した容器はこぼれないようにしっかりと密閉し、必ず立てて保管すること。保管温度：15～30℃。熱せられて液の重合化が進み、使用できなくなるので直射日光への露出は避けること。

8. ばく露防止および保護措置

8.1 管理基準

取り扱い場所で制限値の管理が必要な含有物： なし

OSHA-PEL (USA)：該当せず

ACGIH-TLV (USA)：該当せず

DFG-MAK (EC)：該当せず

Safe work Australia-TWA：該当せず

8.2 ばく露防止



呼吸器官の保護：有害物質を吸い込む危険性がある場所での作業では作業内容を分析の上、産業衛生専門家が推奨する承認済み呼吸器を着用。その危険がない場合は、呼吸器は不要。

皮膚の保護：皮膚への付着を避けること。不浸透性保護手袋および適切な保護衣を着用すること。

眼の保護：ケミカル飛沫を遮断するゴーグル／フェースシールドなど眼と顔を保護する器具を着用すること。

手の保護：ばく露される部分にバリアクリームを塗ると効果があるが、一旦、ばく露された後には塗らないこと。

ニトリルゴム製の手袋（0.7mm 厚以上）を着用。天然ゴム、あるいはアクリレートを吸収する PCV 素材の手袋は使用しないこと。手袋に破れ、異常（サイズ、色、柔らかさ、他）が見られた時には直ぐに交換すること。

手袋素材の浸透時間：正確な浸透時間はメーカーの情報を参考とし、その指示に従うこと。

その他の注意事項：

当該製品を取扱う場所への飲食物、たばこの持ち込み、保管、使用はしないこと。飲食または喫煙する前に、石鹸で手と顔を洗うこと。

9. 物理的および化学的特性

外観：液体

色：無色～黄

溶解度（水）：不溶

溶解度（油溶剤）：データなし

沸点：> 100℃

pH：適用外

濃度：>1

粘度：データなし

蒸発率：適用外

引火点：データなし

溶融温度：データなし

分解温度：データなし

空气中飽和密度（体積比）：適用外

10. 安定性および反応性

10.1 反応性

仕様に従って使用、保管する限り分解反応なし。

10.2 化学的安定性

仕様に従って使用、保管する限り分解反応なし。

10.3 危険有害反応性

危険有害反応の履歴なし。

10.4 避けるべき状態

日光あるいは強力な UV 光源への露出を避けること。40℃（104℉）以上での保管も避けること。直射日光、熱源との直接の接触を避けること。

10.5 混触危険物質

強力な酸化剤、強アルカリとの混触を避けること。

10.6 危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成反応の情報なし。

11. 有毒性

11.1 有毒性情報

急性毒性 (DL50 経口): データなし

急性毒性 (DL50 経皮): データなし

急性毒性 (CL50 吸引): データなし

生殖毒性: 胎児への障害を引き起こす可能性がある。

製品に関しての実験データは無い。本評価は有毒物質の危険度に応じて分類される。これら情報は MGI へ材料を供給している業者から得られるもの。(詳細は第2章、第15章参照) この対象となる物質は次のリスクをもたらす。;

例えば、アクリル系 UV インクの成分は刺激性がある。皮膚あるいは粘膜に長期的に付着した場合は、アレルギー症状(発疹、皮膚炎、水腫れ)を引き起こすことがある。

誤って飲み込んだ場合、吐き気、衰弱、中枢神経に悪影響を及ぼす可能性あり。

12. 環境影響情報

12.1 毒性

急性毒性 - 魚類: データなし

急性毒性 - 水生無脊椎動物: データなし

急性毒性 - 水生植物: データなし

急性毒性 - 微生物: データなし

本製品に関するデータはありません。以下の情報は本製品に含まれている物質に関するもので、原料供給元から出されたものです。

下水、流水への投棄は禁ずる。本製品に関しての現在有効な制限条項に従うこと。

12.2 持続性および分解性

関連情報なし。

12.3 生物蓄積性

関連情報なし。

12.4 土壌中移動性

関連情報なし。

12.5 PBT および vPvB 評価

PBT: 分類対象外

vPvB: 該当なし。

12.6 VOC (揮発性有機化合物)

本製品(ニス)は紫外線を利用して乾燥/定着することを前提としており、完全に乾燥し、溶媒あるいは VOC の残留はなし。

12.7 その他の悪影響

関連情報なし。

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物の処理

排水系、水路への漏出を禁じる。

残余物、パッケージの廃棄については地方条例に従い廃棄処分すること。

13.2 European Waste Key (EWK)/ European Waste Catalogue (EWC)

標準コーディングシステムにより廃棄物の分類、説明が規定されている。これらは EWK/EWC Codes と呼ばれ、6桁の数字で表される。


製品	EWK/EWC code
JV3DS - LED VARNISH	08 03 12

13.3 使用済み容器類

容器は再利用せずに、条例に従って廃棄すること。容器に残留物がある場合、容器のラベルに記載の指示に従って処理すること。不正な廃棄や再利用は不法行為となり、また危険です。

その他の国：各国の規制に従うこと。

14. 輸送に関して

国連番号 ADR, IMDG, IATA	UN3082
国連輸送名 ADR, IATA IMDG	環境に悪影響を与える物質、溶液、 N.O.S. (アクリルモノマー)
輸送危険区分 (es) ADR, IMDG, IATA  Class Label	9 種類の危険物質、製品
梱包区分 ADR, IMDG, IATA	III
環境危険度： 海洋汚染物質 特別表示 (ADR) 特別表示 (IATA)	該当、シンボル (魚、樹木) シンボル (魚、樹木) シンボル (魚、樹木)

15. 適用法令

15.1 本製品あるいは混合物質に関する安全、衛生、環境規制／法令

国法

主たる偶発的危険性に関する法令：

Seveso III: 欧州議会および危険物質による偶発的危険発生対応審議会による指令 2012/18/EU。

Listing: 該当なし

15.2 化学物質安全性評価:

本製品に関する化学物質安全性評価は不要であり未実施。

15.2 化学物質安全性評価:

本製品に関する化学物質安全性評価は不要であり未実施。

16. その他情報

分類 CLP	分類手法
皮膚への刺激 cat 2 H315	計算による
眼への刺激 cat 2 H319	計算による
皮膚感作 cat 1B H317	計算による
生殖毒性 cat 2 H361d	計算による
特定標的臓器毒性 - 単発ばく露 cat 3 H335	計算による
水生環境への影響- 長期に渡る悪影響 cat 2 H411	計算による

本製品はプロフェッショナル用途です。

本製品に関するこれら情報は現時点での我々の知識に基づいており、安全に使用していただくための説明を記載しております。記載されたデータは特定あるいは一般の仕様を保証するものではありません。本製品が意図した目的、使用方法を満足するものであるかはユーザー様ご自身の責任となります。これら記載された情報の使用によるあらゆる損害について、当社は責任を負うものではありません。さらには記載された情報はその物質、使用に関して既に存在する特許に対抗してその製品を使用することを推奨するものではありません。いかなる場合も当社の販売に関する一般条項が適用されるものとなります。

この MSDS は、MGI 社発行の英文 MSDS をコニカミノルタジャパン株式会社が翻訳したものです。

日本国内の輸入販売元情報、及び、国内法規該当状況は下記の通りです。

<輸入販売元>

コニカミノルタジャパン（株） プロフェッショナルプリント事業部
東京都港区芝浦 1-1-1 浜松町ビルディング（総合受付 26F）
0120-805039（お客様相談室）

<適用法令（日本）>

消防法： 危険物・第 4 類引火性液体・第 3 石油類
毒劇法： 非該当
安衛法： 非該当
PRTR 法： 非該当

更新履歴

Version 1: 14/11/2018
Version 2: 12/12/2018
Version 3: 09/04/2019
Version 4: 13/06/2019
Version 5: 23/07/2019
Version 6: 19/07/2021
Version 7: 02/05/2022